



社協だより


ほほえみ

No.47
2017年5月1日

表紙は、3月30日(木)・31日(金)に福祉センターで町内の小学1年～3年生までを対象に実施しました春休み児童デイサービス事業の様子です。
2日間とも館内に子供たちの元気な声が飛び交っていました。詳しくは、4ページをご覧ください。

P2・3	■ 平成29年度予算・事業計画
P4	■ 児童デイサービス事業・赤十字社員増強月間
P5	■ ボランティア活動報告
P6	■ ふれあいいきいきサロンをはじめませんか?
P7	■ お茶の間筋トレ体操教室
P8	■ 香典返し・心配ごと相談等事業

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390

 この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、「だれもが安心して和水平町に暮らすことが出来る地域福祉の実現」を目指します。

近年、認知症をお持ちの方への対応、孤独・孤立死、8050問題など社会を取り巻く問題が全国的に多く発生しています。これらの問題・課題は本町においても起こりうる事態であり、早急な対応が求められています。これらの問題解決の糸口となる地域福祉活動計画は、平成29年度5年目を迎えます。第2期の地域福祉活動計画策定を視野に入れ、地域福祉の充実を推進していくためにも、職員自ら地域に向いて(アウトリーチ)地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

また、平成27年度より施行されました「生活困窮者等自立相談支援事業」につきましても、窓口を設置し継続していきます。様々な問題を抱えていらっしゃる相談者の方に対応できるように、職員の資質向上に努める一方で、関係機関と情報を共有し、どの部署においても対応が出来る体制を整えます。相談者の方にとって自立した生活を送ることが出来るように、今後も寄り添い・伴走型の支援が出来るように推進していきます。

次に新たな取組として、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置については、協議体の設置等30年度の実施に向けて行政機関を始め関係機関との調整を重ねていきます。

併せて、介護保険事業については、本年度より介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、今まで以上に地域福祉と在宅福祉が連携を図り、要支援者等に対して適切で効果的なサービスが提供できるように取り組んでいきます。ファミリーサポートセンター事業については、前年度まで和水平町役場内に事務局が設置してありました。本年度より町との委託契約を結び、移行期間及び運用開始の年度とし、30年度の本格実施に向けて、準備や協力会員の養成等を行います。

今後は、社会福祉協議会の意義・役割について十分に検討し、新たな事業創出も視野にふまえて、既存事業の見直しや課題の整理を行い、地域福祉の更なる充実と向上に向けて、社協職員としての資質向上に努めると共に、職務への自覚と責任を持って取り組んでいきます。

ご近所支え合い活動の充実

- 福祉座談会の実施
- 物品貸出事業
- ファミリーサポートセンター事業の推進
- ふれあいサロン事業の支援
- 見守りマップの作成
- 地域の実態把握事業
- 児童デイサービス事業
- 通所型サービス
- ひとり暮らしふれあい招待会
- ひとり親家庭支援事業
- 世代間交流事業
- 介護予防教室運営事業
- 座談会実施地区の継続支援
- 出前講座の開催
- 要援護者台帳の活用
- 高齢者見守りサービス
- 男性料理教室

福祉人材・福祉文化の充実

- 健康生活支援講習会
- サロンボランティア情報交換会
- 総合的な学習の時間の支援
- 中学生ワークキャンプ事業
- 福祉協力校への助成
- 実習生受入体制の整備
- ボランティア連絡協議会、団体への支援
- ボランティア相談の受付、紹介
- ボランティアに関する各種講座
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練等の実施
- 災害ボランティア講習会の実施

関係機関・団体との連携

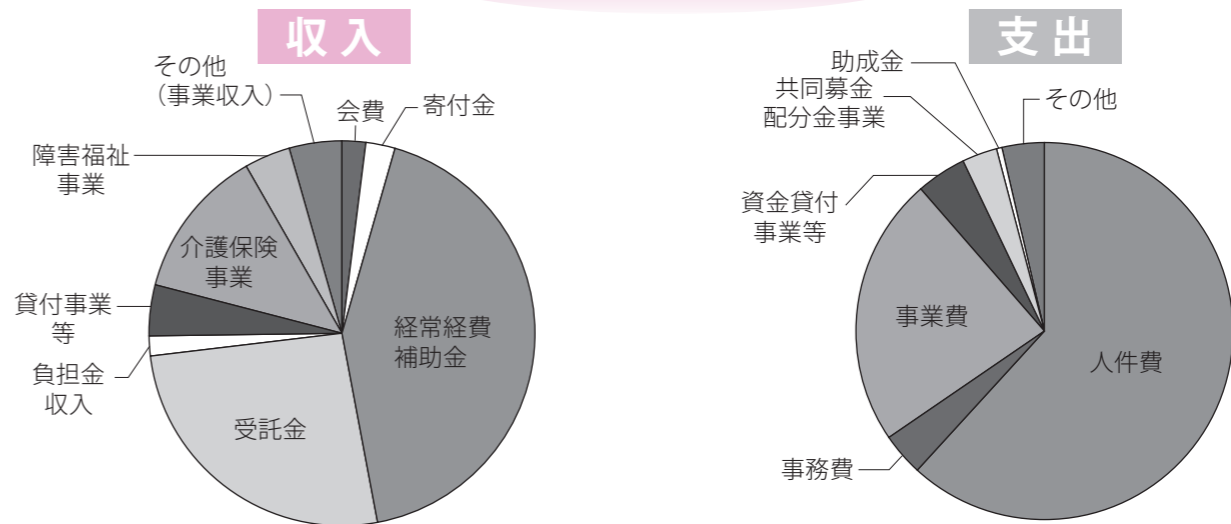
- 各種団体、関係機関等の連携、協働
- 福祉施設連絡協議会
- 生活支援体制整備事業の推進
- 生活福祉資金の受付、相談
- 高額療養費の受付、相談
- 心配ごと相談事業
- 生活困窮者等自立相談支援事業
- 補聴器無料相談事業
- 地域福祉権利擁護事業
- まごころ安心預かりサービス事業
- 居宅介護支援事業
- 障がい福祉サービス事業
- 配食サービス
- 共同募金運動(和水平町共同募金委員会)
- 日本赤十字社事業(和水平町分区分)
- 福祉金庫の受付、相談
- 無料法律相談事業
- 苦情体制の受け入れ体制
- 訪問型サービス
- 在宅介護者のつどい
- 福祉機器貸出事業

地域に顔の見える社協をめざして

- 社協会費の拡大
- 寄付金(一般・香典返し)の受付
- 役員職員等の資質向上
- 指定管理施設運営事業
- 社協だよりの発行
- ホームページ等運用
- 各種PR活動
- 福祉まつり
- メールやアンケートによる意見収集
- 関係機関との意見交換

平成29年度 和水平町社会福祉協議会

一般会計予算



(単位:千円)

	勘定科目	金額	摘要
収入	会費	1,600	社協会費(一般・賛助・特別会員)
	寄付金	2,100	一般寄付金、香典返しなど
	經常経費補助金	35,432	町補助金、福祉センター指定管理費、共同募金配分金
	受託金	21,655	県社協受託金・町受託事業
	負担金収入	1,350	生活困窮者等自立相談支援事業負担金
	貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	介護保険事業	10,529	介護保険事業
	障害福祉事業	3,210	障害福祉サービス事業
	その他(事業収入)	3,704	事業にかかる参加費、預金利息など
	合計	83,180	

(単位:千円)

	勘定科目	金額	摘要
支出	人件費	51,504	職員人件費
	事務費	2,986	法人運営に係る費用(会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等)
	事業費	19,137	地域福祉事業に係る費用(配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等)
	資金貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	2,440	老人福祉活動費(ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等) 児童青少年福祉活動費(ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等) 母子父子福祉活動費(1日父親・母親事業) ボランティア活動育成費(団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等) 総合福祉の事業(広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費)
	助成金	390	各種福祉団体等への助成
	その他	3,123	退職共済預け金、予備費
	合計	83,180	

ボランティア活動報告

青年団による豚汁宅配

3月25日(土)に、青年団による豚汁とおにぎりの宅配が80歳以上の高齢者世帯を対象に実施されました。

大鍋でじっくり煮込んだ豚汁が青年団の手により62軒119名の方へ、届けられました。

受け取られた方から、「とっても味が良くておいしかったよ。」と喜びの声をたくさん聞かせていただきました。



いちごの寄付

JA玉名北部集荷センターいちご部会(会長鶴田秀忠)より、今年もいちごの寄付をいただきました。

三加和地区の80歳以上ひとり暮らしの方と、町内3施設(きくすい荘、和楽荘、清風苑)へと、いちご部会の方と民生委員の手により届けられ、皆さんに地元のおいしいいちごを味わっていただきました。



和水町防災訓練に参加

3月12日(日)、旧神尾小学校(野田・上大田黒・下大田黒)校区を対象に、防災訓練が開催されました。

要援護者の確認や避難経路の確認、防災に関する講話、消火器を使用した消火訓練が行われた中、社会福祉協議会は、ハイゼックス袋による非常用炊き出し訓練を、自主防災組織の生活班の皆さんと一緒に参加者全員分準備しました。

一つ一つの工程を丁寧に確認され、とても熱心に取り組まれていました。今後も非常時に備えて、訓練を繰り返し、一人でも多くの方が落ち着いて対応できるよう取り組んでいきます。

実践！炊き出し訓練



思い出が一つ増えたよ!

3月30日(木)・31日(金)に、和水町福祉センターにて、町内小学生1年~3年生を対象とした、春休み児童デイサービスを開催。参加した児童たちは皆楽しい雰囲気の中で、午前中は学校からの宿題や家庭学習をそれぞれ友達と一緒に取り組みました。また、ボランティアにご協力いただいた皆様から、本の読み聞かせ、パネルシアターの披露も行われました。

1日目の午後からは、ヤクルト山鹿センターの山室様から、腸内環境を整える生活習慣について、模型などを使ってわかりやすく教えていただきました。

2日目は、劇団ぱれっと様による“かちかち山”を鑑賞し、臨場感溢れるプロの演出に思わず泣き出す児童もいましたが、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

児童デイサービス事業



日本赤十字社員増強月間

日本赤十字社では、5月8日の「世界赤十字デー」に合わせ、5月1日から31日までを運動月間と位置付けています。赤十字社は、国内外問わず幅広く救援活動が行われています。東日本大震災や熊本広域大水害の際にもいち早く、被災地で救援活動や救援物資を搬送されています。

日赤和水町分区におきましても、地域住民の皆様には区長様を通して年間500円以上のご協力をお願いします。なお、皆様から寄せられた募金は、災害時の救援物資や講習会・献血事業等に活用されます。

また、和水町分区では炊き出し用の釜を購入していますので、非常時に備えて、出来ることから始めてみませんか?自主防災組織活動や勉強会の一環として活用されてみてはいかがでしょうか。

詳しくは、社会福祉協議会までお尋ねください。

日赤和水町分区よりお知らせ



人は決して、ひとりじゃないから。

日本赤十字社 和歌山支部

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

相談は無料で、
秘密は守ります。

仕事のこと

- 就職したいが、仕事が見つからない
- すぐに仕事を始めることが不安

住まいのこと

- 家賃を滞納し、家を出なければならぬ
- 会社を解雇され、家も失った

生活費のこと

- 借金や公共料金の滞納があり困っている
- 家計のやりくりがうまくできず、生活費が足りない

子ども・家族のこと

- 子どもの学校や勉強のことが心配
- 家に引きこもっている家族がいる

生活困窮者自立 支援制度を ご存知ですか?

ひとりで抱えこまずに、
社会福祉協議会へご相談ください

日々の生活のなかでの不安や困りごとを社会福祉協議会(社協)にお聞かせください。一人ひとりの状況に合わせた支援内容を考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。



介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内54地区(社会福祉協議会実施地区 31地区)で介護予防教室(お茶の間筋トレ)が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、マッサージなど参加者とボランティアスタッフ、職員と一緒に活動しています。(自主活動もあります)各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしております!

<各教室の実施日>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
AM9:30 ～ 11:30	☆焼 米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立 石 (立石公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)	
	☆前 原 (前原公民館)	☆鷺 原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)	☆志口永 (志口永公民館)	☆岩 尻 (岩尻公民館)	
	☆江 栗 (江栗公民館)	☆中 岩 (中岩公民館)	☆上 岩 (上岩公民館)	☆前 野 (前野公民館)	☆内 田 (内田公民館)	
	☆久米野 (久米野公民館)	☆板橋東 (台公民館)	☆下大田黒 (下大田黒公民館)	☆緑 (三加和公民館)	☆野 田 (野田公民館)	
	☆西吉地 (村公民館)			☆下 岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)	
	☆山十町 (橋上公民館)			☆中吉地 (山森公民館)		
	☆中十町 (集会センター)					
PM13:30 ～ 15:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本 村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	☆寺 山 (寺山公民館)	☆日 平 (日平公民館)	☆白 石 (白石公民館)
	☆用 木 (用木公民館)	☆古 閑 (古閑公民館)	☆藤 田 (藤田公民館)	☆北 原 (北原公民館)	☆牧 野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平 野 (平野公民館)	☆中 路 (中路公民館)	☆中 原 (中原公民館)	☆萩 原 (萩原公民館)	☆江光寺 (江光寺公民館)	☆馬 場 (馬場公民館)
	☆西 口 (平々公民館)	☆上和仁 (上和仁公民館)	☆春 富 (春富集会センター)		☆ロマン館 (中組公民館)	☆上津田 (上津田公民館)
	☆上大田黒 (上大田黒公民館)				☆中和仁 (中組公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

福祉機器の貸出

社協では、在宅で生活を送られる方や、正月・お盆等で一時帰宅の場合や緊急的に必要な方に対して、福祉機器の貸出(有料)を実施しています。下記の物を取り扱っています。貸出を希望される方は、社協までお問い合わせください。

※ただし、介護保険利用者の方については、レンタルをお願いします。(担当ケアマネージャーさんにご相談を!)

【福祉機器】

- ☆ギャッジベッド(電動・手動)
- ☆車いす対応車輛
- ☆エアーマット ☆車椅子



登録ヘルパー募集!

当協議会では、在宅で生活されている方を支援するために、訪問介護事業を実施しています。今回若干名ではありますが、下記のとおり登録ヘルパーを募集します。

職 種	登録ヘルパー
資 格	ホームヘルパー 2 級以上
賃 金	当社協規程による
選 考	個別面接により採否を決定します
申 込	和水町社会福祉協議会 (和水町福祉センター)
問合せ先	TEL 0968-34-2366



Q 「ふれあいサロン」ってなに?

A 高齢者が気軽につどい、和める場所

地域の公民館や空き家などを利用し、地域住民の方の生きがいや健康づくり、閉じこもり防止を目的に、参加者とボランティアと一緒に企画・運営しながら、お茶会やレクリエーションなどの活動を定期的で開催し、地域の高齢者が“気軽につどえて和める場所”のことを「ふれあいサロン」と言います。



十町ゆるめつどいふみ亭の様子

Q どこで開催するの?

A 地域の公民館や空き家など

参加者が自力で来られる範囲で、地域の公民館などの公共施設(使用の許可が取れるのであれば、地域の空き家なども可)が良いでしょう。

送迎を行う場合は参加者と送迎を行う方との間で「両者の合意(事故の場合も含めて)」が必要となります。

Q 開催回数はどれくらい?

A 無理のないペースで定期的に

特に決まりはありませんが、毎月1～2回開催されている場合が多いようです。

閉じこもり防止や仲間づくりのためには、無理のないペースで定期的に行えるのが理想的です。

ふれあい・いきいきサロンをはじめませんか?

～地域の公民館などで、みんなが“和める”場所づくり～

Q サロンってどんなことをするの?

A みんなで一緒に無理のない楽しい活動を

「こうしなくてはいけない」という決まりはありません。参加者とボランティアで無理なく楽しくできる内容を一緒に考えましょう。

例えば・・・

- おしゃべり・お茶会・歌・ゲーム・食事会・手芸(小物づくりや折り紙など)・勉強会(介護予防についてなど)・ビデオ鑑賞などなど...

もしも企画に困ったら・・・

社協ではレクリエーション道具の貸出も行っています。

- 熊本弁カルタ ● 輪投げ
- 黒ひげ危機一髪
- ルーレットゴルフ
- トランプ などなど



Q サロンはだれが運営するの?

A 参加者全員が、みんなで協力してサロンを盛り上げよう

運営の主体は様々で、ご近所の方向士やボランティア団体などで自主的に運営をしていきましょう。

サロン活動を円滑に進めるためには、世話人や代表を決めることは必要ですが、活動内容は世話人の方がひとりで考えたり準備したりする必要はありません。活動を長く続けるためには、少しずつ仲間を増やして、みんなで協力してサロンを盛り上げていくことが大切です。

Q 活動費はどこから出るの?

A 社協からの助成金もあります

経費は各自の負担が基本となりますが、和水町社協からの助成金(対象となるサロンや内容には定めがあります。)なども活用しましょう。

また、一回の参加費を決め、会費を管理して運営していく方法もあります。定期的続けるためにも、みんなが負担にならないように工夫しましょう。

寄付御礼

H29年1月5日～H29年4月18日 受付分

寄付者	物故者	行政区(住所)
坂井陽一様	亡母) サチ子	竈門
竹下英敏様	亡妻) トシ子	中岩
嶋田一子様	亡兄) 高木栄次	下津原西
水上義徳様	亡母) 美知子	米渡尾
西村浩二様	亡母) シマエ	竈門
北原雄一様	亡母) ユキエ	北原
藤山耕一様	亡妻) 京子	前野
緒方育代様	亡母) 川北藤子	北原
青木道親様	亡母) ミキ	下津田
寺尾清孝様	亡母) サカエ	中林
緒方 實様	亡姉) ナミエ	上平野
久保田秀徳様	亡母) ヒデ子	北原
横手龍子様	亡夫) 正成	中岩
村上敏春様	亡母) 君子	用木
福山啓而様	亡母) あつ子	下平野
上妻清人様	亡母) 登代子	板楠東
鶴 孝成様	亡母) 澤子	和仁
木村温一様	亡父) 兼温	牧野
福本和美様	亡祖母) キミコ	荒尾市
関 國江様	亡夫) 嶋田一雄	下津原西
高木義一様	亡母) セイ子	竈門
吉田りゅう子様	亡親族) 精治	白石
船津安雄様	亡父) 光夫	馬場
北原洋一様	亡母) 嘉悦史子	上平野
坂本光広様	亡義父) 牧嶋健	内田
山住勝博様	亡母) レイ子	古閑
北原靖治様	亡母) 保子	山十町
福永瑞恵様	亡夫) 信正	東京都
緒方 實様	亡姉) 鈴木モリエ	上平野
堤 隆雄様	亡父) 一義	中原
石原幸子様	亡母) 東オシエ	用木
野田幸男様	亡母) キヨ子	下津原中
内田耕臣様	亡母) もり子	上久井原
古川憲明様	亡母) 菊代	下大田黒
山崎元光様	亡父) 友貞	大屋
滝本光子様	亡夫) 民也	下岩
米村廣章様	亡母) 幸子	中央団地
戸上法彦様	亡妻) まり子	江栗
北原幸盛様	亡母) ツジ子	山十町
中村精也様	亡母) サカエ	竈門
小柳徳弘様	亡母) イチノ	上大田黒

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄付者	物故者	行政区(住所)
上原伸廣様	亡叔父) 新	板楠東
荒木順子様	亡母) トシエ	皆行原
小川竹福様	亡母) ヒルエ	熊本市
石井義廣様	亡妻) ミドリ	久米野
竹崎郁子様	亡夫) 真人	内田
森田富秋様	亡父) 巖	野田
坂口圭介様	亡父) 博文	江光寺
中村文代様	亡夫) 哲哉	上和仁

善意寄付

下記の方より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

- ◆高松 寿英様(寺山)
- ◆岩尻老人会様

心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	5月	6月	7月
心配ごと相談	5月12日(金) 10:00~12:00 竈門公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	6月9日(金) 10:00~12:00 未定 行政相談委員1名 民生児童委員2名	7月14日(金) 10:00~12:00 用木公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名
法律相談	5月26日(金) 10:00~12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	6月23日(金) 10:00~12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	7月28日(金) 10:00~12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》
補聴器相談	5月19日(金) 9:00~12:00 老人福祉センター 玉名補聴器 センター対応	6月16日(金) 9:00~12:00 福祉センター 玉名補聴器 センター対応	

編集後記

今年度も広報を担当する石原です。広報誌は年4回の発行を予定していますが、季節行事や日々の事業等については、フェイスブックにて更新していきますので、是非一度アクセスしてみてください。一人でも多くの方に、共感・賛同していただけるような紙面にしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。
(石原)

社協だより ほほえみ 2017 May No.47

発行日/平成29年5月1日
編集・発行/社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
〒861-0923 熊本県玉名郡和水町平野1276-3
TEL0968-342366・0968-342390

印刷/株式会社有明印刷
※この広報紙は地域環境にやさしい植物油型インキを使用しています。

古紙配合率100%再生紙を使用しています